



- 経営基盤
- 1 公教育の本質に立つ教育を推進する。(日本国憲法, 教育基本法, 学校教育法, 学習指導要領, 県・地区・市教育行政の重点施策や方針)
 - 2 創立125年の歴史と伝統に立脚した教育を推進する。
 - 3 児童や地域の実態を踏まえ, 児童や保護者, 地域の人の願いに応える教育を推進する。

教育目標

想い合い 学び合い 共に高め合う 子どもの育成

めざす学校の姿
(行きたい学校)

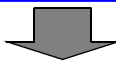
- ◇共に認め合い豊かな心を育む学校
- ◇学ぶ意欲を高め, 確かな学力を育む学校
- ◇安心・安全で健やかな体を育む学校
- ◇家庭・地域に信頼され, 愛される学校

一校一改革

聴き方名人「あいうえお」
あ：相手の顔を見て
い：いい姿勢で
う：うなずきながら
え：笑顔で
お：終わりまで

めざす子どもの姿

- (なかよく) 明るく, 助け合って伸びる子ども
- (かしくく) 進んで考え, 学び, 行動できる子ども
- (げんきよく) 身体を鍛え, 最後まで頑張り抜く子ども



【経営の重点】

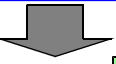
- 子ども同士が, 気づき・考え・実践する学校を目指して
～「学びの共同体」を基にした学校経営～
- ◇「気づき」を大切にし, 聴き合う・認め合う教育の推進 (協働的な学び)
 - ◇GiGAスクール構想に基づく, ICTの積極活用・個の学び・表現力向上 (探求的な学び)

めざす教師の姿
(愛される教師)

- ◇深い児童理解のもと個々の子どもの意欲を高める教師
- ◇自己研鑽に努め高い授業力で学力向上を図る教師
- ◇人間性豊かで, 信頼され, 慕われる教師
- ◇進んで協調・協働し高め合う教師

キャッチフレーズ

- 笑顔あふれる柳迫
- 笑顔であいさつ
 - 笑顔で発表
 - 笑顔で体力づくり



豊かな心を育む学校

お互いを認め合う教育活動を展開し, 豊かな人間性や道徳性を備えた共に育ち行く教育に努めます。

- ◇チーム対応による心に届く生徒指導体制
- ◇道徳教育の充実
- ◆「学校が楽しい」肯定的回答90%以上
- ◆「聴き方名人」肯定的回答90%以上
- ◇いじめ対応の姿勢 (1件でも発見・解決)
- ◇「あいさつ・あつまり・あるきかた」徹底
- ◇ボランティアの意識向上・実践

重点目標
具体策
◇具体策
◆数値目標

資質・能力を確実に育てる学校

ICTを活用し, 「主体的・対話的で深い学び」を通して生きて働く知識・技能・思考力・判断力・表現力の育成を図る授業づくりに努めます。学習への関心・意欲の向上

- ◆単元テスト8割が80%以上達成
- ◆各種学力検査全国・県比100以上の達成
- ◇「終末10分間」の充実
- ◇子どもに自信をもたせる振り返りの実践
- ◆家庭学習の充実 (1年30分, 2年40分, 中学年60分, 高学年90分)
- ◆読書目標冊数 (低100, 中90, 高80)

安心・安全で健やかな体を育む学校

安心で整った環境のもと, 運動に親しみ心身の健康と生命尊重を学び「健やかな体づくり」に努めます。

- ◇熱中症や感染防止の徹底
- ◇規則正しい生活習慣の確立
- ◆う歯治療率100%
- ◆縄跳び個人目標80%クリア
- ◆交通事故0
- ◆スマホ・ゲーム家庭内ルール設定90%以上

業務改善・働き方改革を推進する学校

学校の業務改善・働き方改革を推進し, 適正な勤務時間とやりがいをもって働き「教育の質が向上する学校づくり」に努めます。

- ◇「業務改善1 Action」の設定
- ◇校務分掌組織の機能化と連携強化
- ◇成果を子どもに還元する職員研修【研修テーマ】
- 「学習者主体」を実現する算数科授業の在り方
～ICTを効果的に活用した授業づくり～
- ◇教職員としての服務規律の遵守

家庭・地域と共に歩む学校

地域と同じ方向を向いた特色ある教育活動を展開し, 「保護者・地域と一体となった学校づくり」に努めます。

- ◇地域ぐるみによる教育推進 (体験活動の充実)
- ◇学校の「よさ」の積極的な発信 (各種たより・ブログ)
- ◇学校評価・学校関係者評価を踏まえた学校改善の推進
- ◇学校運営委員会への転換を考慮した学校評議委員会

PDCAサイクルによる学校運営の改善と充実 (夢・計画・記録・反省・愛情を大切にした教育の推進)
学校評価を充実させることにより, 計画的な学校運営の改善と充実を図る。

2 努力点と具体的方策

努力点	具体的方策
(1) 特色ある学校経営の充実	<p>ア 児童・保護者、地域の実態を踏まえ、学習指導要領に沿った教育課程の完全実施と、 『想い合い 学び合い 共に高め合う 子ども』を育てる教育活動の展開</p> <p>イ 「思いやりの心」の育成（「あいさつ・靴ならべ・よい言葉遣い」の習慣化）</p> <p>ウ 校務分掌の機能化と、学校組織としての力を発揮した学校の活性化（PDCAサイクル）</p> <p>エ 個々の職員の資質向上とチーム連携（情報交換・研修・交流等を通じた所属感の高揚）</p> <p>オ 教育活動の改善・充実に向けた自己評価や保護者等の外部アンケート、学校関係者評価による実践と、幼・保・こ・中との連携・協力</p>
(2) 学級経営の充実	<p>ア 少人数学級のよさを生かした一人一人を大切にされた教育活動の展開</p> <p>イ 豊かな人間関係づくりと<u>個々の学ぶ意欲を高める</u>学級経営の充実（学校経営方針を受けた学級経営プランの作成と実践）</p> <p>ウ 相手の意見をよく聞き尊重する態度と自分の考えを自分の言葉で伝えられる態度（学びの共同体）（協働的な学び）</p>
(3) 学習指導の充実	<p>ア 児童の意欲を喚起する教材開発や指導方法の研究，児童が言語活動による学び合いを通して、「自分の考えを広げ，伝える」授業づくりの推進</p> <p>イ グループ学習を基本とした聴き合う学習（探求的な学び）</p> <p>ウ 基礎的・基本的内容の確実な定着（計算力・漢字力テストの実施，音読の継続）</p> <p>エ 教育機器の効果的な活用と情報活用能力の育成（電子黒板・タブレット等のICT教育の推進と情報モラルの育成）</p>
(4) 教科体育の充実と体力の増進	<p>ア 体力テストの結果活用と，体力向上への取組（学習カード等の活用）</p> <p>イ 教科体育や仲よし体育での体力づくりの推進 ※ 一校一運動の実践（縄跳び・竹馬・一輪車・持久走の計画的実施，固定施設を活用したサーキットの実施）</p> <p>ウ ストレスマネジメント教育の推進</p> <p>エ チャレンジかごしま・体力ナビを活用した運動意欲の向上と運動の日常化</p>
(5) 道徳教育の充実	<p>ア 学習指導要領に沿った指導計画の完全実施（道徳的判断力・心情・実践意欲・態度の育成）</p> <p>イ 「特別の教科道徳(道徳科)」の指導方法の研究・実践（心の教育の日：道徳授業公開）</p> <p>ウ 家庭や地域との連携・協力，道徳的実践力の育成</p> <p>※ 人との関わりを通して，認め合い，互いを尊重する心を育む。</p>
(6) 生徒指導の充実	<p>ア 心に届く生徒指導，意図的・計画的な教育相談の充実と校内生徒指導会議（月1回）の開催（いじめの未然防止と早期発見・早期対応） ※ アンケートの活用</p> <p>イ 思いやりのある言葉づかいや元気なあいさつの定着と，互いを認め合う態度の育成</p> <p>ウ 家庭との連携による基本的生活習慣を身に付けさせる指導の徹底</p>
(7) 特別活動の充実	<p>ア 児童の創造性を生かした学校行事，自己肯定感を味わわせる体験活動の充実</p> <p>イ 学級活動におけるソーシャルスキル・コミュニケーションスキルの向上</p> <p>ウ ボランティア活動の充実による感謝の心や奉仕・福祉の精神，思いやり，協調する心の醸成（青少年赤十字活動の理念の共通理解と実践）</p> <p>エ キャリア教育（パスポートの活用）・消費者教育・主権者教育の実践・意識向上</p>

努 力 点	具 体 的 方 策
(8) 読書指導の充実	ア 図書室や移動図書館車(さんぺい号)の活用促進(学級文庫の充実) イ 「読書タイム」(視写も含む)の充実と読み聞かせ、 読書月間の充実 ウ 図書日より発行等による読書への意欲喚起と年間読書目標設定による読書量の確保 (読書の量と質の向上・学年に応じた推薦図書のリスト活用)
(9) 保健・給食指導の充実	ア 「早寝, 早起き, 朝ごはん」の推進と基本的な生活習慣の定着 (週1回の「生活リズムチェック」の活用) ※う歯治療率100%の継続 イ 食事作法の指導と偏食・残食の指導・改善(食育の推進) ※栄養教諭との連携 ウ 感染症予防の徹底(手洗い・うがい・換気) エ メディアとの付き合い方研修の継続 (有効性と危険性, 家庭でのルール設定) オ 保健だよりの発行・学校保健委員会の開催による健康意識の高揚
(10) 安全指導の充実	ア 学校行事(交通教室・避難訓練及びKYT)と教科等の関連を図った安全意識の高揚・実践的態度の育成(危険への気付きは, すぐ報告・指導) イ 安全点検(職員:毎月)の確実な実施と実施後の迅速な処理(校内巡視:毎日) ウ 児童の安全意識の向上(校内危険箇所確認) エ 家庭・地域との連携による危険箇所の把握と登下校時, 家庭・地域での安全確保(見守り隊・児童クラブとの連携)
(11) 国際理解教育・郷土教育の推進	ア 「外国語科」(高学年), 「外国語活動」(中学年)の指導法の研究・実践 イ A L Tの効果的な活用と外国の文化に親しむ活動の充実(交流活動の促進) ウ 市行事や校区コミュニティ行事への積極的参加の推進(市担当者等との連携) エ 郷土の歴史・文化・人材等の把握と教育活動への積極的活用(学校応援団)
(12) 環境教育の推進	ア 身近な「環境問題」への理解と, その改善に向けて行動できる実践力の育成 イ 清掃活動など積極的な環境づくりと安全確認(気づき・考え・実践する) ウ S D G sの意義理解と個々の実践意欲の向上(青少年赤十字の活動)
(13) 人権同和教育の推進	ア 全教育活動での人権教育の実践と児童一人一人を大切にする教育の推進 イ 自他の人権を尊重し合う温かい人間関係づくりの実践(体験による学びの場設定)
(14) 特別支援教育の推進	ア 教育相談の充実と特別支援教育への理解促進(サポートルームへの理解促進) イ 計画的な校内委員会の開催と的確な支援(個別支援計画の実践・保護者との連携) ウ 関係機関との連携と個に応じた支援の充実(特別支援学校の参観等)
(15) 校内研修の充実	ア 学力向上への研究の深化と授業実践(<u>相互授業参観の推進</u>) イ 外部指導者・講師の積極的招聘による研修の積み重ね ウ 個人研究テーマの設定と実践を通じた研究の推進 エ 学習指導要領・ユニバーサルデザインに基づいた研究と実践
(16) 家庭・地域との連携	ア 地域コミュニティ組織と連携した学校行事・P T A活動の運営, 専門部活動への積極的働きかけと見届け(メディアの利用, 交通安全) イ 学級P T A活動の活性化(学級P T A役員との連携) ウ 学校広報の充実による積極的な情報発信(学校日より, 学級通信, 学校HP ・ブログ等) エ 家庭教育学級の学習内容の充実と計画的な実施 オ 学校応援団との連携と効果的活用(精選・改善・新設) カ 各種関係団体との連携, 地域行事への積極的参加 キ カヌー教室の実施

